

2024. 10. 28 後期初日の遊戯室の様子から

今日から、後期がはじまりました。今日は少し小雨が降ったり止んだりして園庭に行けなかったので、午前の好きな遊びの時間は遊戯室が開放され、年長と年中の子たちが遊んでいました。

遊戯室入口近くの鉄棒の所では、生き生きと自分のやりたい技を楽しむ子がたくさんいました。ある子の鉄棒につかまっている様子が「落ないか少し心配だな」と感じられて近づいて行くと、「見て見て、体操習っているんだ」と言っているいろいろな技をしようとしています。危なげに見えたのは、いろいろな技に挑戦しようとしていたからだだったようです。

ソフト積み木やゲームボックスのところでは、思い思いに並べたり積み上げたり敷き詰めたりくぐったりして遊んでいます。秋休みがあったので1週間ぶりの幼稚園ですが、気の合う友達とイメージを共有しながら楽しんでいます。一人の子が、「あそこのマットの所に行つて〇〇と探してきて」と言うと、他の子たちが、さっと何も置いていないマットの所に行つて探す仕草をして、「持ってきたよ」と戻ってきました。

1か所しかないサッカーをするスペースでは、最初は、ワイワイとボール蹴りを楽しんでいたのですが、後半、ボールを蹴ることを楽しんでいる年中さんと、サッカーのゲームをしたい年長さんの思いが違ったり、一緒にボール蹴りを楽しんでいた年中さんの中でのトラブルが起きたりして、先生が入って一緒に話をしていました。

遊戯室の端の跳び箱置き場では、跳び箱の上の段を外して、テーブルのように利用し、自分たちの居場所を作っている年中さんがいます。始めは二人でしたが、保育室で何かを作った後に加わってくる子がいて、そこに加わる時は、内ズックを脱ぎきれいに並べています。その子たちの家のように。一人の子が保育室から持ってきたピンクの紙には、「おかあさんだいすき」と書かれていて、ピンクのハートに切った小さな紙がセロテープで貼られていました。次に、保育室で作ったマントを付けてきた子が来て、「入れて」と言って内ズックを脱いできれいに並べて加わっていききました。保育室のトイレの前のスリッパは、きれいに並べましょうと先生が声をかけることもあるけれど、自分たちの遊びの中では、声をかけなくてもズックをきれいに並べる姿が見られることもあります。

好きな遊びの後半に、手作りのベルトを身に付けたり剣を手を持ちたりしている二人の年中さんが遊戯室に入つて来ました。ベルトは、秋休み前に作っていたもので、今朝の登園の時に持ってきている姿を見かけました。秋休み前と変わっているようで、「ここにも、ここにも、ここにも、ここにも貼ったんだよ」と秋休み前と変わったところを教えてくださいました。確かに秋休み前は、前面にしか貼られていなかったキャラクターのカードのコピーが、4つの側面にも貼られています。それを聞きながら、ふと、小学校2年の算数の「箱の形」のことが思い浮かびました。箱には面が一つしかないのではなく、一つの面の周りにいくつもの面があるからカードをたくさん貼ることができることを、遊びを通して学んでいます。

遊戯室では年少さんの様子を見られなかったのですが、みんなの時間に年少保育室へ行ってみると、明日、幼稚園みんなで行く公園の話をしていました。先生が「明日行く公園の名前は『はっぱこうえん』だったかな」と言うと、子供たちからは「違うよ〜」と声が上がります。秋休み前聞いた公園の話も、よく覚えています。明日は、散歩に行ける天気になりますように。

